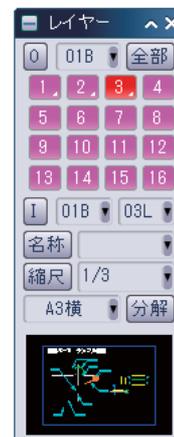


# CADPAC CIVIL Ver.16 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.16 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.15 からの差分です)

## 1. レイヤー右パネル (プレビュー欄)

レイヤー右パネルにプレビュー欄を追加し、現在の入力レイヤーにある要素を表示し、確認できるようにしました。プレビュー欄は非表示にすることも可能です。たマウスがレイヤー右パネルのレイヤー番号上にある時、オンマウス状態でレイヤー名称や縮尺を表示するかどうかの設定を追加しました。



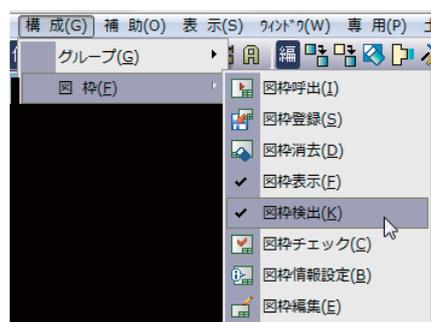
## 2. 出図設定 (前回保持)

出図コマンドの「拡張指定」で前回の設定を保持する機能を追加しました。前回保持を有効にすると、「自動縮尺」及び「指定縮尺」の設定が保存され、次回起動時にも有効となります。



## 3. 図枠検出

図枠検出の設定を使いやすいように、プルダウンメニューの構成 / 図枠に表示するようにしました。従来は「図枠編集」コマンドに図枠の検出・非検出の設定があり、指定に手間がかかりました。

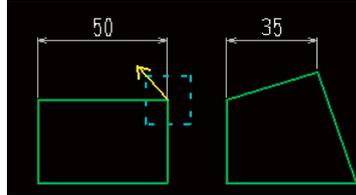


## 4. 外部入力 ワイルドカード指定

外部入力系ファイル選択ダイアログボックスで、ファイル名リストのワイルドカード指定による絞り込みを可能にしました。  
(STATION 入力、DXF 入力、DWG 入力、DA フォーマット、JWCAD 入力、SXF 入力、PDF 入力)

## 5. 変形

平行寸法または連段寸法の水平・垂直モードで作成された寸法を変形の自由モードで変更する場合、その寸法性格を維持して変形するようにしました。(下記の例だと水平寸法を維持)



変形コマンド「設定 - 寸法引き出し線のみ検出された場合、寸法値の変更対象にする」の初期値を ON に変更しました。

## 6. ハッチング (異縮尺)

ハッチングの編集時に、異縮尺に対応しました。  
基準縮尺以外のレイヤーにハッチングを配置後、基準縮尺を変更しハッチング編集をかけると基準縮尺でハッチングが再作図されてしまいましたが、レイヤーの配置された尺度で処理される様にしました。

## 7. SXF 出力

エラーでSXF出力が正常に終了しなかった際、エラーの原因をログとして出力し、ダイアログボックスで表示するようになりました。

## 8. ツールバーアイコン (サイズ変更)

3K や 4K などの高解像度モニター用に、大きいサイズのアイコンツールバーを指定できるようにしました。同時にプルダウンメニューの第 2 階層以下の文字も大きくなります。(CSB や右パネルのサイズは変更されません)【補助 / システム設定 / 表示】

